

# ボラ情報・お知らせ

## フードバンク NICO フードドライブにご協力ください!

ご家庭に眠っている食品、ありませんか?

「賞味期限までに食べられそうにない」、「たくさんもらって余っている」など、ご家庭に眠っている余剰食品があれば、ぜひ各実施場所にお持ちください。

日時: 2020年11月25日(水) 9時~15時  
場所: 中津市教育福祉センター、中津商工会議所、  
本耶馬溪支所、耶馬溪支所、  
山国社会福祉センター



(例)お米(1年前まで・玄米)  
パスタ・素麺などの乾麺  
缶詰・レトルト・インスタント食品  
海苔・お茶漬け・ふりかけ  
お菓子・調味料・飲料 など

※賞味期限まで **2カ月以上あり**、常温保存が可能なもの

<お問い合わせ・申込み> 中津市社会福祉協議会 地域福祉課  
☎23-2095 野依・島元

## 中津市障がい児・者余暇活動支援事業 てくてくまつり開催!

11月の「てくてく」は小さなお祭り!  
わたあめ、めだかすくい、焼きいも、軽スポーツ  
など、お祭り気分を楽しんでくださいね。

日時: 11月22日(日) 10:00~12:00  
会場: 中津市教育福祉センター & プレーパーク  
対象: 障がいのある方とご家族(先着 100名)

※参加を希望される方は、電話で  
お申し込みください。

<申込み・お問合せ>  
中津市社会福祉協議会 地域福祉課  
☎23-2095 木内・宮田



## 第43回 みんなで遊ぼう会

好評につき、新人指導員がネイチャーゲームをします。  
寒さに負けず、体をいっぱい使って遊ぼう!!

日時: 12月20日(日) 10時~  
会場: なかつプレーパーク

中津市沖代町 1-1-11  
(教育福祉センター横)



ぐるくるパンや 主催: みんなで遊び場をつくろう会  
焼いもがあるよ! お問い合わせ: 090-9498-5669(原口さん)

~心とこころ 人とひととのつながり~

## 福祉啓発

今年度はふくしまつりが中止になりましたが、まつりに  
代わり、福祉啓発として2つのイベントを開催します。

### ① ふくし川柳を募集します。

題材: 「みんなにやさしいまち、ひと」  
募集対象: 小学生部門、中学生部門、高校生部門、  
一般部門  
募集期間: 令和2年11月30日(月)まで  
商品: 優秀部門賞、参加賞あり



### ② コロナと共に講演会 ~みんなにやさしいまちひと~

【日時】 令和2年11月20日(金) 13:30~15:30  
【場所】 中津市教育福祉センター 多目的ホール  
【定員】 40名 ※事前申し込みが必要です。  
【内容】  
「コロナウイルスとの共存、コロナ禍における感染症」  
講師: 中津市民病院 看護師 磯崎 慎吾 氏  
「こんな時だからこそこの“つながり”講話」  
講師: motto ひょうご事務局長 栗木 剛 氏  
※栗木氏の講話は、事前収録をした DVD 講話となっています。

<申込み・お問合せ>  
中津市社会福祉協議会 地域福祉課  
☎23-2095 惣路



## 編集後記

95歳の祖父が最近家事に目覚め、掃除に洗濯になかなかの主婦ぶりを発揮している。先日「朝ごはん、何を食べたの?」と聞くと、なんとフレンチトーストに挑戦したらしい。どうやら料理番組や近所のご婦人方から学んでいるらしく、毎日ウキウキと料理している様子を想像すると笑いがこみあげてくる。年をとっても好奇心旺盛なところが元気の秘訣なのかしら?

ボランティアコーディネーター きのうち ちづこ



## ボランティア・市民活動情報紙

# ぺんぎん



# No.245

2020年11月発行

《発行》 中津市ボランティア・市民活動センター (中津市教育福祉センター内)  
〒871-0021 大分県中津市沖代町 1-1-11 TEL 0979-23-2095/FAX 24-7682  
《ホームページ》 <http://www.nakatsu-s.or.jp/> E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

## ~これからの20年先の未来にバトンを!~

### 発達障がい児・者親の会「たんぽぽの会」20周年

たんぽぽの会は、発達障がいのある子どもの保護者とその支援者を  
中心としたグループです。中津児童相談所の主催で平成12年3月ま  
で続いた、「めばえ学級」で知り合った仲間と平成12年4月に会を発  
足させ、今年で20周年を迎えました。

この会は、情報交換、発達障がいについての知識の普及、地域・支援者  
の輪を広げることを目的とし、毎月第3月曜日に定例会を開き、同時に  
広報紙「たんぽぽふれす」を発行しています。



今年度は、コロナの影響によりイベントがなかなか開催  
できていませんが10/4(日)  
にメンバーの方の畑で芋掘り  
を行い、参加していた保護者  
の方々も子どもたちの中で、  
終始素敵な笑顔で少年、少女  
に戻っているようにも見えま  
した。

### たんぽぽの会の代表:坂本さんのコメント

今は「発達障がい」と検索すると、多くの情報を得ることができます。  
しかし、同じ地域に暮らす同じ境遇の方々とは直接会って話をすること、  
つながっていること、共感の時間を共有すること、それこそが会員の活  
力となっています。子どもたちが「生まれてきてよかった」と思ってくれる  
ような環境を作り、そこへ導いてあげたいという想いと共に、これか  
ら支え合って活動していきたいと思っています。

## ~人を包み、人をつないで20年~ 沖代寄合所 すずめの家 20周年を祝う会



令和2年9月開所20周年を迎えたすずめの家で祝う会が開催されました。平成12年  
開所当時からいらっしゃるの4名、その一人である代表の吉田さんから、「自分たちの  
拠点をもち、会費だけで寄り合いの場を支えて20年も続いているのは全国的に見ても  
珍しい。誇りを持って今後もやっていきましょう。」と挨拶がありました。

また、すずめの家のお母さんの一人佐藤さんは、自分の日記を見て思い出した当時のことを詳細に語られ、  
「一人で摂る食事の量は知れているけれど、ここで皆と一緒に食べるといつもの倍食べられるのよね。何よ  
り、皆とこうして元気で20周年を迎えられて本当に嬉しい。これからも健康に気をつけながらすずめの家に  
きて、たくさん笑って、おいしく食べて、楽しい時を一緒に過ごしていきましょう。」と挨拶され、皆さんうれし  
そうに拍手されていました。

20年前、自分達が年を取った時に、老後に生きがいを求め余生を楽しめる場があればとの想いから開所  
された「沖代寄り合い所すずめの家」。20年の時を経て今もなお、地域住民同士が思いやり支え合う場とし  
て存在しています。20周年、おめでとうございます!!!



# 知れば知るほど、郷土をもっと好きになる！

## ～本耶馬溪町観光ボランティアガイド～

9月25日(金)、「本耶馬溪町観光ボランティアガイドの会」の案内で本耶馬溪中学校の2年生18人が本耶馬溪町・耶馬溪町の名所巡りを行いました。これは郷土を知って地域を愛する心を育てる目的で中学校が企画しガイドを依頼したもので、生徒達は地元の名所を知り尽くしたガイドの方の説明を、メモを取りながら熱心に聞いていました。

当日のコースには羅漢寺登山も組み込まれており、終日歩きどおし。平均年齢70歳を過ぎているメンバーの皆さんですが、「地元の中学生に郷土のことを知ってもらえるのが嬉しい。」と先頭に立ち、一つ一つ分かりやすく説明していました。



代表の久篠信行さん

ガイドさんのお話を聞き、自分が住んでいる町の昔の風景や様子、ただ見ているだけでは分からないことを知ることができてよかったです。この町をもっと知りたくなりました。  
(本耶馬溪中 岩尾さん)



和やかな雰囲気での例会

「本耶馬溪町観光ボランティアガイドの会」は、本耶馬溪町史編纂の際に「史跡や名所をガイドする団体があってもいいのでは？」という神野哲さん(故人)の声掛けがあって、平成15年に発足しました。現在の会員は10名で、学習会を開き仲間のガイドを見ることで腕を磨いてきたといいます。案内するコースが決まっている場合は事前に歩いてみることもあり、準備にも時間をかけています。

皆さんにやりがいを感じると、「ガイドは一期一会のお付き合い。全国の方と繋がって、喜んでもらえるのが嬉しい。」とおっしゃっていました。

**新規会員募集中!** 本耶馬溪町が好きな人、もっと本耶馬溪町を知りたい人、よかったら一緒にしませんか? 本耶馬溪町について詳しく知らなくても大歓迎です!

【お問合せ】0979-52-2483 (事務局 深水さん)

# おめでとうございます!

## ～令和2年度大分県表彰～

### 県知事表彰

- ☆奥耶馬紅ひよっこ衆
- ☆クローバー
- ☆うしがみ

### 県社協表彰

- ☆地域サロン「のじこ」

### 県社協感謝状

- ☆中津豊田ひよっこ踊り愛好会
- ☆中津マジックの会
- ☆吉野草グループ

給食ボランティア「うしがみ」代表 小倉さん



令和2年10月に別府ビーコンプラザで第15回大分県地域福祉推進大会が開催され、大分県内において日頃からボランティア・市民活動に積極的に取り組んでおり、地域社会の発展のために貢献された方々が表彰されました。

# 先輩から後輩へ良い伝統を繋ぎます!

## ～大分県立中津北高等学校～

今年の6月に中津北高校のボランティア委員長の松永くんより、「毎年7月にボランティア委員会が中心となりごみゼロ運動を行っている。昨年は中津駅周辺で清掃活動をしたが、今年は違う場所で活動したい、地域のニーズを教えて欲しい!!」という相談がありました。その後、10月10日(土)に中津北高校の学生約160名で中津市内をきれいにする活動「ごみゼロ運動」を実施しました。このような活動を続けているボランティア委員会の活動についてお聴きしました。



松永くん

### 【ボランティア委員長 松永くんのコメント】

「ごみゼロ運動」は、平成16年から始まり今年で16年目を迎える活動です。これまでは、毎年ボランティア委員会で試行錯誤しながら「ごみゼロ運動」を行う場所を決めていました。



今年は、「地域のニーズを!!」と思い、中津市社協に相談すると同時に自分たちでもごみの多い場所を調べ、エリアマップを作り4ブロックに分けました。

当日は、1、2年生を中心に日頃お世話になっている中津のまちをきれいにしようと奮闘しました。近所の方から「頑張ってるね!」と声をかけていただき、仲間が少し照れながらも胸を張って活動している姿をすごく頼もしく感じました。

### 【活動当日の取材をしてみても】

上級生が下級生に「次はあっちに行こう。」「きちんと挨拶しよう。」などと積極的に声掛けしていたことが印象的でした。先輩から後輩へ、良い伝統が引き継がれていますね。



# 子ども用のマスクをいただきました!



桜っ子広場の未就学児の皆さん

沖代寄り合い所すずめの家でボランティア活動をしている渡邊小百合さんが、手作りの幼児用マスクを寄贈してくださいました。渡邊さんは新型コロナウイルスの影響で自由に遊びまわれない子ども達の役に立てたらとマスクを作り始めたということで、マスクに使われている生地は子どもたちが好きそうなポップなものばかりです。

マスクは教育福祉センターの桜っ子広場や三光児童館を訪れていた皆さんに贈られ、子どもたちは色とりどりのマスクに大はしゃぎしていました。



三光児童館の小学1年生の皆さん

### マスクの正しい着用



- ① 隙間を作らないように、鼻と口を確実に覆いましょう。
- ② ゴムひもはきちんと耳にかけましょう。